


令和5年度 家庭教育学級の学習の足跡

第	テ ー マ	
1 回	1年「親子で朗読劇を見てみよう」(PTA1年学級活動との連携)	
講 師		参加者数
「さざなみ21」7名 代表 津田 百合子 さん		児童8名 大人8名
		
<p style="text-align: center;">「ちりんのすず」 「がらがらどん」1回目 1年生児童保護者参加して再演</p>		
<p>今年度1年生の家庭教育学級は、1年生児童と保護者の方とで一緒に「さざなみ21」の皆さんによる2本の朗読劇と1本の大型絵本読み聞かせを鑑賞しました。</p>		
<p>はじめは、「ママおばけ」の朗読劇です。 お母さんが不慮の事故で亡くなってしまった、主人公の男の子は、おばあちゃんと2人で暮らしていますがやはりお母さんが恋しくなります。すると、お母さんがお化けになって、寝ている男の子のもとに夜な夜な現れるようになって…というお話です。お母さんとの一見、ユーモラスでありながらきめ細やかな親子の愛情が感じられるやりとりの中での感動的な会話があり、1年生も静かに見入っていました。</p>		
<p>続いてアンパンマンで知られているやなせたかさんの原作・作画絵本「ちりんのすず」の朗読でした。母羊を狼に殺された子羊ちりんがその狼に弟子入りし自ら凶暴な猛獣と化し、自分の育った羊牧場を襲おうとするのですが…「真の強さとはなんだろうか」について見ていた各自が考えさせられる内容でした。</p>		
<p>最後の朗読劇はノルウェー民話の「3匹やぎのがらがらどん」でした。鬼のトロールと、彼に橋を通せんぼされる3匹の山羊の掛け合いのようなセリフと様子を表すオノマトペ表現が元気よく反復され、2回目は、1年生や保護者の方が代役を受けもたれて、楽しく劇が展開されました。総じて1年生には、貴重な朗読劇体験となったようです。</p>		
<p>この日までにさまざまなご準備に取り組みました「さざなみ21」の皆様はじめ、打合せにご尽力されたPTA学級委員の皆様、本当にありがとうございました。</p>		